



新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

2023年度は整形外科常勤医が不在となったため骨折等の入院診療を休止することとなり、地域住民の皆様及び近隣医療機関の先生方には多大なご迷惑をおかけ致しました。2024年5月より手術治療を含む整形外科診療を再開しておりますが、引き続き安定的な医療提供体制を構築できるよう努力して参ります。

さて2024年の診療報酬改定にて「地域包括医療病棟」が高齢者救急搬送の増加を背景に新設されましたが、当院では2024年10月より届出を行いました。これにより急性期病棟と地域包括ケア病棟と合わせて3病棟の機能を従来よりさらに分化させ、高齢化と人口減少に伴う地域の入院医療ニーズの変化にしっかりと対応してまいります。

また昨年10月には人間ドックのオプションに心筋梗塞のリスク評価をCTで行うカルシウムスコア検査を導入しました。これは疾患の早期発見を目的としたものですが、今後その他にも新たな検査を追加していく予定です。これらの検査を通じて地域の皆様の健康増進に寄与できればと考えています。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



下田メディカルセンター 病院長 伊藤 和幸

新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

昨年は整形外科常勤医師が不在となり皆様方には大変ご迷惑をお掛けいたしました。昨年4月より着任いただいた整形外科常勤医師により5月から整形外科手術を再開、また、10月から聖隷浜松病院より整形外科専攻医1名を派遣いただき、現在は整形外科常勤医師2名体制で運営しております。

本年も引き続き、地域の皆様に信頼される医療を提供できるよう、スタッフ一同一丸となって邁進してまいります。新たな挑戦や変化が待ち受けていますが、患者様の健康と安全を最優先に考え、より良い医療環境の実現を目指すと共に、下田メディカルセンター理念に基づき私も精進してまいります。今後とも引き続き下田メディカルセンターへのご指導ご鞭撻のほど何卒宜しくお願い申し上げます。



下田メディカルセンター理念

仁愛の心を持ち、安心・安全で、かつ質の高い医療サービスを、24時間365日提供することにより地域貢献を果たします。

静岡メディカルアライアンス

あさの よしあき
統括管理部長 浅野 好章

新年のご挨拶

あけましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

2025年は日本の人口の約30%が65歳以上の高齢者となり、3人に1人が65歳以上、5人に1人が75歳以上という超高齢化社会を迎えようとしています。しらはまクリニックが開院して15年以上が経過し、賀茂地区の高齢化も進む中、地域医療という存在が今後は更に重要となると考えております。また、伊豆半島での人口も年々減少傾向にあり、医療従事者の人材不足やそれに伴う長時間労働という問題も少なからず当院で課題となっているのが現状です。

高齢者が非常に多い賀茂地域でこれから内科系の診療を中心に、しらはまクリニックの職員一同で何ができるかを考え、さまざまな運用に取り組み、更なる地域貢献を果たしていきたいと思っております。

これからも他医療機関の皆様と協力し、より良い医療を提供するため努力していく所存ですので、本年も宜しくお願い申し上げます。

しらはまクリニック

すずき こうじ
管理部 課長代理 鈴木 康二



新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

今年、2025年は『団塊の世代』が約2200万人を超えると予想されており、国民の5人に1人が75歳以上という超高齢社会に突入します。また、「介護難民」の急増が予測され、介護が必要な「要介護者」に認定されているにも関わらず施設に入所できない、適切な介護サービスを受けられない、といったことが起こるとされています。「介護人材の不足」「老老介護」「認認介護」は2025年問題において深刻な問題です。

なぎさ園は「在宅復帰施設」であるため、一定期間リハビリを行ったのち、在宅に戻れることを目標としています。多職種の連携はもちろん、居宅ケアマネジャーの力もお借りしながら、在宅復帰できるよう工夫を重ね、入所されている方たちが気持ち良く生活できるよう努めています。少ない人数で質の高いケアを提供するのは本当に大変ですが、少ない人数だからこそ、一人ひとりが責任を持って仕事をし、工夫を重ねていくことで利用者様に心地良い生活空間を提供することができるのではないかと考えています。簡単ではありませんが、職員一同、力を合わせて頑張っております。本年も、どうぞよろしくお願いいたします。

介護老人保健施設 なぎさ園 管理部 課長代理 おぎそ かずてる 小木曾 一輝



感染部会 活動報告

当院での感染部会の活動をご紹介します。

9月16日当院感染部会主催による職員全体研修会が執り行われました。日頃院内で問題となっている感染対策の疑問をテーマにし、わかりやすく伝えるにはどうしたらよいか計画し勉強会までつないできました。

研修当日は、各部署の感染対策部会メンバーが、2~3人のグループになり、排泄介助・吸引・採血の際のアルコール手指衛生・尿回収などの感染対策NG行動を



寸劇で行いました。NG行動から正しい感染対策を中田感染管理認定看護師がエビデンスを用い説明してくれました。解説はわかりやすく学べたと好評でした。当日勤務の都合で参加できなかった職員にも後日動画の視聴により職員の90%近くが無事研修を修了することが出来ました。

コロナ禍により感染対策が自己流になってしまったり、基本的な対策が出来ていなかったりと各部署混乱していた中、今回のような院内研修ができたことは、全ての職員にとって大変実りある結果となりました。主体的に生き生きと活動できる部会作りをモットーにしてきた下田メディカルセンターの感染対策部会は、企画し楽しく学ぶ・伝えるという目標に1歩近づいた成長にもつながりました。

下田メディカルセンター 感染症病床看護科長代理 感染管理認定看護師 おおとし せいこ 大年 聖子



地域医療連携室よりご挨拶



謹賀新年。旧年中は格別のご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

当院では昨年病床編成を行い、10月より新たに地域包括医療病棟を立ち上げました。高齢化率が50%に迫り生産年齢人口が極めて低い当地区では、高齢者が救急搬送の多くを占めます。その為、入院に伴う筋力、心肺機能、認知機能低下の割合が必然的に高くなり、地域の課題となっています。そこで、在宅復帰支援強化に向けた当院の新たなチャレンジとして、この「地域包括医療病棟」を立ち上げました。

- ・急性期治療を行い、
 - ・早期リハビリ介入による身体機能の回復、維持を図り、
 - ・医療・介護の専門職による多職種連携による在宅復帰に向けた退院支援により、在宅復帰の実現を目指す
- この3つを兼ね備え、高齢者の医療・介護・福祉を包括した支援を進めることが大きな特徴であり、伊豆地区において当院が最初の開設となる病棟です。医師、看護師、メディカルスタッフ、そしてNSTによる院内連携に加え、在宅を支える医療・介護・福祉・行政の皆様との多職種連携を更に深化し、住民の皆様のご健康回復・早期退院支援に努め、地域から信頼されるコミュニティーホスピタルを目指して参ります。

関係機関の皆様におかれましては、今後ともご指導ご鞭撻のほど賜りますようお願い申し上げます。

地域医療連携室 課長代理 木村健吾

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は大変お世話になり誠にありがとうございました。

私ごとですが、今年度より看護部に戻ることとなりました。今後は、連携室で学んだことを日々の看護に活かせるよう尽力していきたいと思っております。これまでご指導いただいた皆様に感謝申し上げます。本年もよろしくお願い致します。

地域医療連携室 相談員 稲葉百古

あけましておめでとうございます。

昨年は長引く残暑の影響もあってか、1年がより短く感じられました。患者様・関係機関の皆様にご支えられ、本年もこの場に立ちご挨拶をさせていただいております。まだまだ至らぬ点も多いですが、本年もよろしくお願い申し上げます。

地域医療連携室 相談員 高橋彩乃

明けましておめでとうございます。

昨年入社して、皆様のご指導・ご支援のおかげで無事一年を過ごすことが出来ました。今年は余裕を持って一つ一つを丁寧に対応し、微力ながら地域の皆様のお役に立てるよう努めて参りたいと思っております。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

地域医療連携室 事務 尾見亜希子

あけましておめでとうございます。

8月より地域医療連携室事務補助をさせて頂いております。医療での仕事が初めてで、周りの方々に教えていただきながら日々励んでおります。まだまだ覚える事満載ですが、1日でも早く皆様の力になれるよう頑張りますので、変わらぬお力添えをお願い致します。皆様にとって良いお年になりますようお願い申し上げます。

地域医療連携室 事務 腰本厚子

賀茂地区在宅医療・介護連携推進支援センターよりご挨拶

平素より当支援センターの運営におきまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

賀茂地区では高齢化率が50%に迫るなか、独居・身寄りのない高齢者の方も増加し、様々な問題が絡み合う支援において、益々多職種連携の重要性が問われています。その中で、病院において身寄りのない患者が亡くなられた場合の対応について、賀茂1市5町において統一した対応が取れるよう協議が出来たことは良い成果でした。一方、多職種勉強会においては、各地域における要望を組み込まずマンネリ化してしまったことは、反省点として挙げられます。

今年度はこれら反省を踏まえ、皆様のご意見を反映しより柔軟に取り組んで参ります。引き続きご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

賀茂地区在宅医療・介護連携推進支援センター 木村健吾 / 腰本厚子

発行

下田メディカルセンター

〒415-0026 静岡県下田市六丁目4-10

TEL.0558-25-2525 FAX.0558-25-5050

https://www.s-m-a.or.jp/shimoda/

発行責任者

地域医療連携室長 浅野 好章

アクセス

伊豆急下田駅から徒歩10分圏。路線バスのバス停も目の前にあり、電車やバスでスムーズに来院いただけます。また、敷地内に300台収容の駐車場を用意しております。



SHIZUOKA MEDICAL ALLIANCE

医療法人社団 静岡メディカルアライアンス 運営施設

みなとクリニック(外来)

〒415-0152 静岡県賀茂郡南伊豆町湊674

TEL.0558-62-0005

なぎさ園(介護老人保健施設)

〒415-0152

静岡県賀茂郡南伊豆町湊674

TEL.0558-62-6800

しらはまクリニック(外来)

〒415-0012 静岡県下田市白浜1528-2

TEL.0558-27-3700